

何が部下を成長させるのか

(第1回目)

ローゼンソールの実験

検討課題：

**部下の成長（例：知識やスキルの向上）は、
管理職の部下への係わり方で変わるか**

※ あなたの考えに**最も近いもの**をひとつ選んでください

大きく変わる ある程度変わる あまり変わらない 全く変わらない

それはどうしてだと思えますか

ローゼンソールの実験 ～何が子供たちを変えたのか(ピグマリオン効果)

1964年春、教育現場での実験として、サンフランシスコの小学校で、アメリカの心理学者ローゼンソールのグループが「ハーバード式突発性学習能力予測テスト」と名づけた『今後数か月の間に成績が伸びる生徒を発見できるテストを開発した』と言って、そのテストをクラス全員に受けさせた。

しかし、実は真っ赤なウソで、そもそもそのようなテストは開発されていなかった。

数週間後、ローゼンソールは、テスト結果だとして、無作為に選ばれた生徒たちの名をあげた。学級担任は、そのリストを見て驚いた様子だった。ところが数か月後、その生徒たちは皆、成績上位者になっていた。

問：無作為に選ばれた生徒なのに、なぜ皆成績上位者になったのか。

その理由（原因）を考えてください。

（なお、教師以外には、生徒の氏名を明らかにしていない）

なぜ無作為に選ばれた生徒たちは
わずか数か月で皆成績上位者に
なったのでしょうか

次回はその理由（原因）について
明らかにして行きましょう